

平成23年度CSI委託事業報告交流会成果報告

馬場, 謙介
九州大学附属図書館研究開発室

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

<https://hdl.handle.net/2324/22155>

出版情報 : 2012-06-27
バージョン :
権利関係 :

平成23年度成果報告 「文献自動収集・登録ワークフロー システムの開発」

九州大学, 一橋大学, 筑波大学, 三重大学
<http://code.google.com/p/csiworkflow/>

目標

リポジトリの登録論文数を増やす！！

●九州大学のリポジトリ（QIR）の場合、登録論文数は、実際に執筆された論文の高々3割程度

●ほとんどの機関で同様の状況であると推測される

●コンテンツが充実すれば、文献の内容やアクセスログの詳しい解析や、便利な閲覧機能を追加する意義が出てくる

●リポジトリへの論文登録作業は、著作権ポリシーの確認が必要な学術雑誌論文が特に面倒

アイデア

論文著者に登録を促す

●現状は基本的に著者による自発的な登録

- 単純に手間を省くだけでは効果がない
 - 研究者DBからのリンクは全く効果が無かった
 - 研究者の意識：否定的ではないけど、積極的ではない

リポジトリ管理者の作業効率を上げる

●登録依頼が殺到しても、処理できなければ登録数は増えない

- 現状の効率化は、担当者個人の工夫が頼り
 - 経験
 - 自作のエクセルファイル

具体策

教員問い合わせシステム（H22）

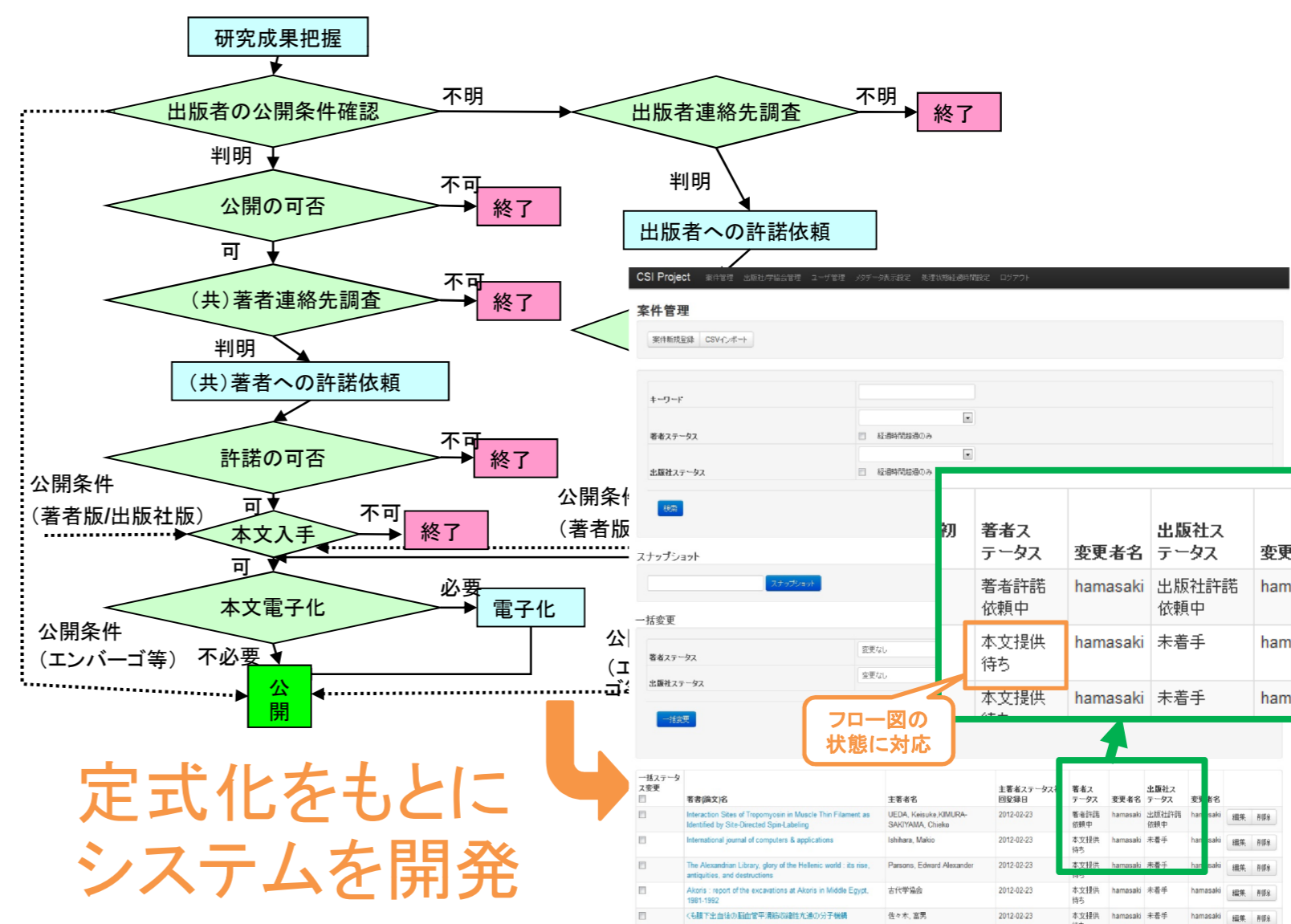
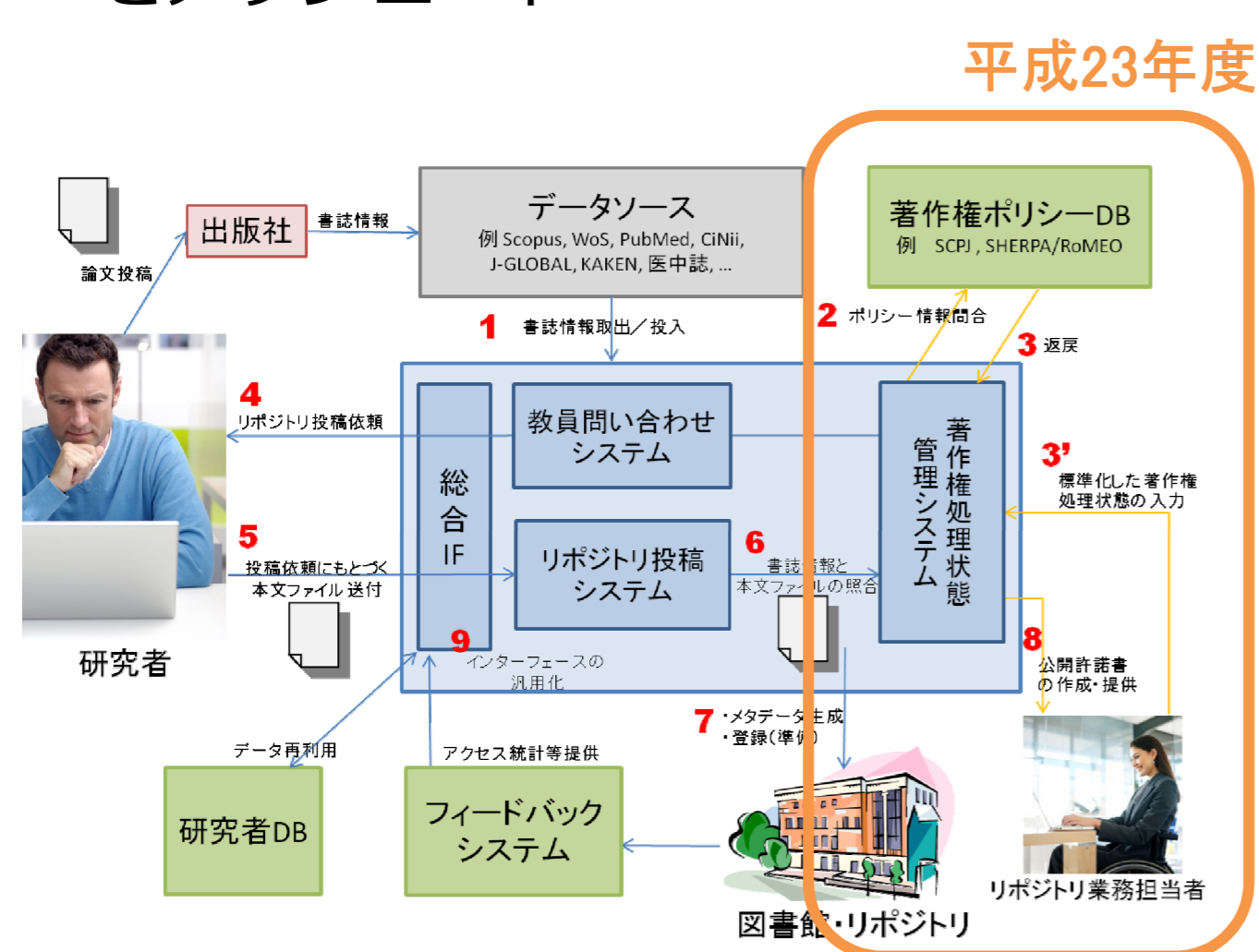
●外部の学術論文データベース(Scopus, CiNii等)で自機関の研究者による執筆論文を検索

- 電子メールで登録の催促
 - 研究者はメタデータを確認して、本文をアップロード

著作権処理状態管理システム

●リポジトリ管理者の論文登録作業を定式化（H22）

- 自動化できる部分は自動化（H23）
 - 出版社著作権ポリシーの確認で、SCPJやSHERPA/RoMEOを活用



定式化をもとにシステムを開発

平成24年度の計画

システムの検証・評価

●平成23年度までに開発を行ったシステムを運用

- API等による上記システム間の連携

●論文登録数やリポジトリ管理者の作業時間の調査を行う

他のシステムとの連携

- 機関毎に異なる環境のための汎用化
- 研究者データベース

連絡先:九州大学 附属図書館 eリソースサービス室リポジトリ係

〒812-8481 福岡市東区箱崎6-10-1 092-642-2342 qir@lib.kyushu-u.ac.jp

平成23年度CSI委託事業報告交流会